

令和2年度第3回
袋井市行政改革推進委員会 会議録

日時：令和3年2月8日（月） 18：00～19：30

会場：オンラインによる開催

出席者：小泉祐一郎会長、豊田浩子副会長、石川春乃委員、岡本伸顕委員
片山貴彦委員、濱岡博史委員、原野英見委員、右島学委員

事務局：副市長、企画政策課

<会議次第>

○協議事項

- ・第2次袋井市行政改革後期実施計画（案）について

○意見交換

- ・第2次袋井市行政改革後期実施計画の進め方について

<会議の概要>

第2次袋井市行政改革後期実施計画に係る答申書の作成に向けて、今までの委員会における議論の総括を行った。

<委員の意見>

○第2次袋井市行政改革後期実施計画（案）について

- ・難しい用語には注釈を追加し、計画における定義を明確にすること。
- ・文章表現で市民に誤解を与えないようにすること。
- ・具体的な達成目標や目標の定義など、計画書にどこまで詳細に記載するべきか再検討すること。

○第2次袋井市行政改革後期実施計画の進め方について

- ・業務委託の包括化による経費削減に取り組む際には、市内事業者に配慮すること。
 - ・重点取組項目の設定により、メリハリが出た。市民にも分かりやすいのではないか。
 - ・取組の見直しを必ず行うこと。見直し自体が作業になってしまわないように、見直しの着目点を共有しておくこと。
 - ・電子申請化に取り組む際には、若年層・高齢層への具体的な普及方法も検討すること。誰でも簡単に利用できるサービスにしたい。
 - ・達成目標の質と水準の妥当性を検証し、良いサービスにつながる目標設定とすること。
 - ・新たな取組に関しては、幅広い有識者の意見を聞いた上で、意思決定すること。
 - ・外国人市民とイコールパートナーとしてどう関わるかが第一。外国人の在籍する学校や企業とうまく連携して交流が図れると良い。
 - ・行政サービスのどこで線を引くか。これからの社会では、廃止も重要な選択肢である。
 - ・まちづくりを担うリーダーの掘り起こしと、地域に根付く為の支援をお願いしたい。
- また、行政は様々な主体がつながる役割を果たすことも重要。
- ・重点取組項目は、特に力を入れること。民間であれば、他を捨てる決断もする。